

令和元年 5月 14日  
海事局船舶産業課

## シップ・リサイクル条約早期発効に向けた国際セミナーを開催 (結果概要)

～主要解体国に対して、条約の早期締結を強く要請しました～

国土交通省は、5月10日、英国・ロンドンの国際海事機関（IMO）本部において、IMOとの共催により、シップ・リサイクル条約早期発効への国際機運醸成を目的として、シップリサイクルに関する国際セミナーを開催しました。セミナーでは、世界各国政府、民間団体、NGO等より200名を超える関係者が参加し、条約の早期発効の重要性と、これに向けた関係業界、政府の積極的な取組について理解を深めました。我が国からは、本年3月に条約を締結したことを紹介するとともに、インド、中国、バングラデシュの主要解体国を含めた各国に対して早期条約締結を強く呼びかけました。

### ○開催概要（別紙参照）

日 程：2019年5月10日（金） 14:00-18:00 IMO本部（ロンドン）

主 催：日本及びIMOの共催

参加者：各国政府関係者（海事、環境等）、民間（業界団体、環境NGO、海運企業、リサイクル企業等） 約230名

講演者：

＜政府＞日本※、欧州委員会（EC）、インド、中国、バングラデシュ、ノルウェー

＜民間＞国際船主団体、リサイクル業界団体、日本海事協会、国際労働団体

※我が国からは、今井新 国土交通省海事局海洋・環境政策課環境渉外室長が講演を行ったほか、齋藤英明 海洋環境保護委員会（MEPC）議長（国土交通省海事局船舶産業課長）が閉会スピーチを行いました。



キータック・リム IMO 事務局長による開会挨拶



会場の様子

### 【問い合わせ先】

海事局船舶産業課

担当者名 中尾、大久保、田畑

（内線 43-653、43-637、43-635）

代表 TEL：03-5253-8111

TEL：03-5253-8634（直通）

FAX：03-5253-1644



## セミナーの概要

○開会スピーチにおいて、キータック・リム IMO 事務局長より、IMO と共に本セミナーを主催した日本への感謝が述べられるとともに、シップ・リサイクル条約の重要性と、2009 年の条約採択から 10 周年の節目となる年である 2019 年において、各国が早期に条約を締結することへの強い期待について述べられました。

○セッション 1 において、安全で環境に優しいシップリサイクルの実現に向けては、世界中のシップリサイクルヤード及び船舶が条約に適合することが極めて重要であるとの認識の下、各分野の業界のリーダーから、条約適合に向けた取組及びその進捗並びに早期発効に向けた課題について発表が行われました。また、海運・解体業界より、安全で環境に優しいシップリサイクルへの意識が高まっており、ヤードの改善等の条約発効に向けた環境整備が進んでいること、条約早期発効への要望があることがアピールされました。

○セッション 2 において、主要海事国・解体国より、各国のシップリサイクル政策及び条約締結に向けた展望として主に下記についての発表がありました。また、各国政府が、条約の早期締結及び発効促進に向けて取組を進めることが重要との認識が共有されました。

- インドより、「条約締結に向けた国内法案について現在州政府と調整を行っており、5 月の総選挙後、夏の国会に、同法案及び条約加入について提出できることを期待している。」
- 中国より、「条約締結に向けた国内調整を開始したが、まだ時間がかかる。条約にはリサイクルヤードを一切持たない国も締結しているように、中国が廃棄物輸入禁止の国内法により他国籍船を解体目的で輸入できないことと、条約締結はリンクしていない。」
- バングラデシュより、「2023 年までに条約適合を目指す国内法を 2018 年に策定し、数年以内の条約締結を目指した取組を進めている。」

我が国からは、今井新 国土交通省海事局海洋・環境政策課環境渉外室長が講演し、日本の本年 3 月の条約締結及びこれまでの日本の官民による南アジアのヤード改善支援の取組について紹介するとともに、条約の早期発効に向け、各国に対して早期条約締結を強く訴えかけました。

○閉会スピーチにおいて、齋藤英明 海洋環境保護委員会 (MEPC) 議長 (国土交通省海事局船舶産業課長) より、グローバルなソリューションとしてのシップ・リサイクル条約の重要性を改めて強調し、発効に先立って条約適応への取組を行っている業界及び条約既締約国に対しての謝意を表明するとともに、本セミナーが各国における条約締結に向けた取組の加速化に資することを期待すると述べました。



斎藤英明 MEPC 議長



今井環境渉外室長



ガイ・プラット  
世界海運会議所 (ICS) 事務局長



ダスラット・プラサド  
インド海運省 課長

## プログラム

### 14:00 開会スピーチ

- ・ キータック・リム IMO 事務局長

### 14:10 セッション1: シップ・リサイクル条約適合に向けた業界の取組

- (1) 国際海運業界から見た条約早期発効の必要性及び現在の取組と課題  
(欧州、アジア船主による取組を含む)
  - ・ ガイ・プラット 世界海運会議所(ICS) 事務局長
  - ・ マーティン・ドールセン 欧州船主協会(ECSA) 事務局長
  - ・ アン・チン・エン アジア船主協会(ASA) 事務局長
- (2) タンカー分野による取組と課題
  - ・ ティム・ウィルキンス 国際タンカー船主団体(INTERTANKO) 環境部長
- (3) 国際リサイクル業界における取組と課題
  - ・ レイノード・ピズパース 国際シップリサイクル協会(ISRA) 部長
- (4) インドのシップリサイクル業界の取組(ヤードの改善状況等)
  - ・ ニティン・カナキア インドシップリサイクル協会(SRIA) 事務局長
  - ・ チンタン・カルティア カルティアシップブレイキング 部長
- (5) 船級協会による南アジアのヤード認証及び改善に向けた取組
  - ・ 平田純一 日本海事協会(Class NK) 部長
- (6) 労働者から見た直近のヤード改善状況と条約発効への期待
  - ・ 松崎寛 国際労働組合(IndustriALL) 部長

### 15:50 コーヒーブレイク

### 16:10 セッション2: シップリサイクル政策(条約締結に向けた取組)

- (1) 日本の条約締結及び発効促進に向けた取組(インドのヤード改善支援等)
  - ・ 今井新 国土交通省 海事局 海洋・環境政策課 環境渉外室長
- (2) 条約発効に向けた取組(EU規則の実施状況を含む)
  - ・ ピーター・コラー 欧州委員会 環境総局 政策官
- (3) インドにおけるシップリサイクル政策と条約締結に向けた取組
  - ・ ダスラット・プラサド インド海運省 課長
- (4) 中国における条約締結に向けた展望
  - ・ チュンチャン・ジャン 中国交通運輸部海事局 課長補佐
- (5) バングラデシュにおける条約締結に向けた展望
  - ・ ヤスミン・スルタナ バングラデシュ産業省 局長
  - ・ ミザナル・ラハマン バングラデシュ産業省 課長
- (6) ノルウェーの条約早期発効に向けた期待と取組
  - ・ スヴァイヌン・オフトダル ノルウェー環境省 専門課長

### 17:50 閉会スピーチ

- ・ 斎藤英明 海洋環境保護委員会(MEPC) 議長(国土交通省海事局船舶産業課長)

### 18:00 閉会